サーバーの"コビト"にスマホで直接指示。
KOBITO
コビト by ThinkX

デジタル化·AI
導入補助金2026
IT導入補助事業者

**ClaudeCodeベース**

**AI企業が10年蓄積してきた設計基盤が今すぐ手に入る。**

**そのエージェントで作った
システム、大丈夫ですか？**



**企業がAIエージェントをはじめるなら、**

# プロ仕様の「エージェントシステムベースキット」を入手し、その上に構築するのが合理的な理由とは

**10年のAI企業が自ら開発し使用する、完成されたセットアップ**

**AIの設計に任せない。
長期的に失敗しないノウハウの蓄積**

ThinkX
Since 2015

誰がこれを作っているか

# 運営企業

ThinkX株式会社

設立 2015年

所在地 東京都港区赤坂7-6-45-113

主要株主　大塚一輝
マネックスベンチャーズ株式会社
アドウェイズ株式会社

資本金 4,000万円

事業内容 ソフトウェアの開発と販売・第六感の定量化

## 代表取締役

## 大塚一輝（おおつか・かずき）




フランスで計算機を用いた音楽理論の研究を行ったのち帰国後に独立、多数の事業立ち上げに参画しCTOとして企画開発した不動産投資分析AIシステムで億円規模のM&Aを経験。計算理論からネットワークインフラ、システム、数理モデル開発まで全領域の実装を行う。
「量子論理の非分配性に基づく直交モジュラー束上の計算言語$\beta$」で東京大学大学院学際情報学府より修士号を取得。
自然言語処理や音響処理に関する複数のソフトウェアの特許を保持。人口の上位2%のIQを持つ人々の国際団体MENSA会員。SNS総フォロワー数1.1万人。

2021年東京大学大学院情報学環客員研究員。
2022年未来工学研究所(米TTCSP科学技術系シンクタンクグローバルインデックス世界3位)客員研究員。
2026年NTTドコモビジネス(株)(旧NTTコミュニケーションズ(株))AIクラウド事業アドバイザー。
他多数歴任。

**お問い合わせ**

https://thinkxinc.com/products/KOBITO　／　inquiry@thinkxinc.com

ThinkX
Since 2015

© ThinkX Inc.

いま起きていること

# 「開発者はもういらない」——本当にそうでしょうか。

Claude Codeに代表されるAIエージェントの登場で、
エンジニアでなくても**「こんなシステムにしたい」と日本語で頼むだけ**でシステムが作れる時代になりました。

### 実際にあった話

ある病院の経営者は、患者向けの予約やバス送迎の案内から、従業員の休暇・シフトの管理まで、
**すべて自分でAIに作らせました。**ひと昔前なら、発注すれば数千万円かかった規模の仕組みです。

## 「すごい。無敵じゃん。システム開発会社はもういらない」

—— いま、多くの人がこの段階にいます。

**ところがこの経営者はいま、本業の手を止めて、朝から晩までAIと向き合い続けています。**

なぜそうなるのか。次のページで、エージェント開発の構造的な問題を説明します。

© ThinkX Inc.

なぜ、ゼロから作り始めるべきでないのか

# AIに「ただ作らせた」システムに起きる、3つのこと

1

## 中身が、いつの間にか複雑になり、誰にもわからなくなる

AIに任せきりで作ると、中身はぐちゃぐちゃになります。無駄で冗長な設計、その場しのぎの継ぎ足し、統一されない技術スタックと仕様。1年後には**作った本人にも分からず、プロのエンジニアでも避けたくなるものになります。**マニュアルもありません。

2

## 「動けば終わり」と「回し続ける」は別物

個人の便利ツールは、動けばいい。しかし企業のシステムは長期的にスケールアップし、回し続けるものです。最初に一貫した設計なく作り続けるのは、**基盤がグラグラしているビルを建て続ける**のと同じです。

3

## 流行りの技術は、数年で古びる

放っておくと、AIは流行のフレームワークを使って作ります。バージョン更新や流行の移り変わりとともに古び、**最初は楽でも、数年で破綻していきます。**使い続けるほどAPI費用もかさみます。

**問題は「作れるか」ではありません。「その効率性を維持し続けられるか」「安全に回し続けられるか」です。**

© ThinkX Inc.

エージェントに自由にシステムを作らせるのは、
複数の大工が**建築家なしで自由にビルを建てる**のに似ています。

**プロの現場では**

# プロは、AIの設計に任せません。

✓ **見張って、監督する**
プロはAIを放し飼いにしません。CTOが開発者に指示を出すように、設計がまずくならないよう一つひとつ監督します。特に最初が肝心です。

✓ **いきなり本番に出さない。データ・変更をプロ基準で管理**
まずテスト環境で確認し、問題がなければ本番に反映する。ソースコードの変更を管理し、必要ならロールバックする。IT企業が当たり前にやってきた工程です。

✓ **長年のノウハウから作られる、一貫した指示書。全体設計は手放さない**
組織の業務マニュアルや就業規則を思い浮かべてみてください。プロは過去の仕事で培われたノウハウをドキュメント化し、エージェント向けの規約としてプロジェクトに配置しています。そうしておけば、AIは、一貫したやり方で安全に書き続けます。

**あなたの仕事に置き換えると**
自分の仕事の「考えるステップ」を全部文書化してAIに渡せば、AIはそのとおりに仕事をします。その**文書化済みのプロのノウハウ**が、システム開発の世界にはすでに存在します。問題は、それを持っているかどうかです。

**これからシステムを内製する会社の選択肢は、二つ。**

① ゼロからエージェントで作り始める　／　② プロの設計とノウハウが最初から入った基盤の上で作る
KOBITOが提供するのは、この ② です。

© ThinkX Inc.

KOBITOとは

# プロ仕様の「エージェントシステムベースキット」

✓ **破綻しないノウハウの詰め込まれた基盤。長期視点での成長するシステム。**

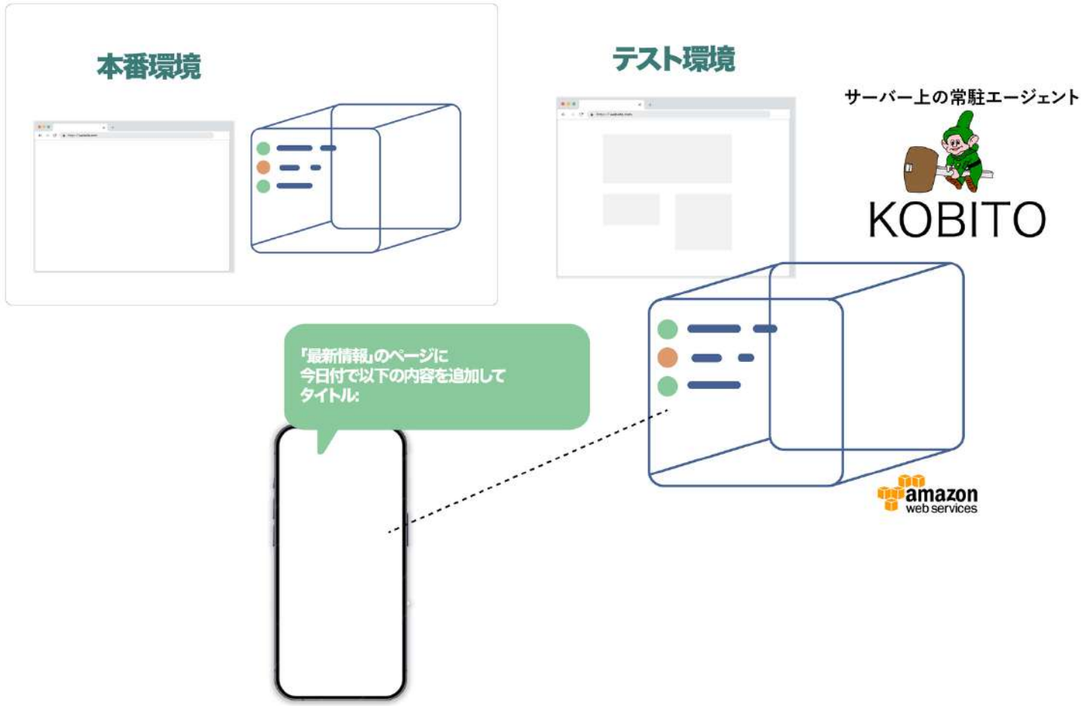
コーポレートサイトも、社内システムも、この基盤の上に積み上げていきます。一貫した、シンプルな構成を維持するためのドキュメントやサンプル、SEOや問い合わせや決済などよく使うコンポーネントも同梱されます。

✓ **10年のAI企業が自ら開発し使用する、完成された設計と開発ドキュメント。**

AI開発10年のThinkXが自社のために作り、使い続けてきた構成、長期的に成功するノウハウが詰め込まれた、完成されたセットアップです。

✓ **サーバーの中に、エージェントが常駐。チームで管理し、共有する。**

お客様専用AWSサーバーの中に、エージェント「コビト」が常駐します。手元のスマホやPCから日本語で指示するだけです。お客様はAWSにアカウントを登録するだけで、サーバーは自動で立てられます。




**KOBITOは、ITシステムを知り尽くしたAI開発10年のThinkXが自ら用いている、エージェント駆動開発システム基盤の、完成されたセットアップです。**

© ThinkX Inc.

KOBITOの価値 ①

# ノウハウが、最初から入っている。

当社がエンジニアに指示するレベルの**開発指示書・コード規約・サンプルコード**が、基盤に組み込み済みです。コビトは、その延長でしか書きません。

つまり**「プロが書いてきたシステムの続きを、プロの監督のもとでAIが書き続ける」**状態から始まります。ゼロの状態からAIが書き始めたシステムとは、ここが根本的に違います。

**AIの設計に任せない。**長期的に失敗しないノウハウの蓄積——それがこの製品の中身です。

**多言語翻訳**
**問い合わせからチャットに通知**
**SEO（検索エンジン最適化）**
**https(TLS証明書)の自動更新**
**など**

**よく使う機能も内臓**

### 設計思想 — 10年の運用で崩れなかった構成

- ✓ 大規模フレームワークに依存しない(流行り廃り・バージョン変更で壊れない)
- ✓ 疎結合・高いモジュール性(AIが安全に変更・拡張できる)
- ✓ 広く普及した標準技術だけ(独自プラットフォームに閉じない)

| | |
|---|---|
| **サーバー** | Python／Flask、nginx、Linux(AWS EC2) |
| **フロント** | JavaScript、CSS(大規模フレームワーク不使用) |
| **履歴・配布** | Git／GitHub(全変更を記録・日次バックアップ) |
| **エージェント** | Anthropic社 Claude Code+当社の指示書群 |

当社が自社サイトで実際に使い続けている構成と同一です。

© ThinkX Inc.

KOBITOの価値 ②

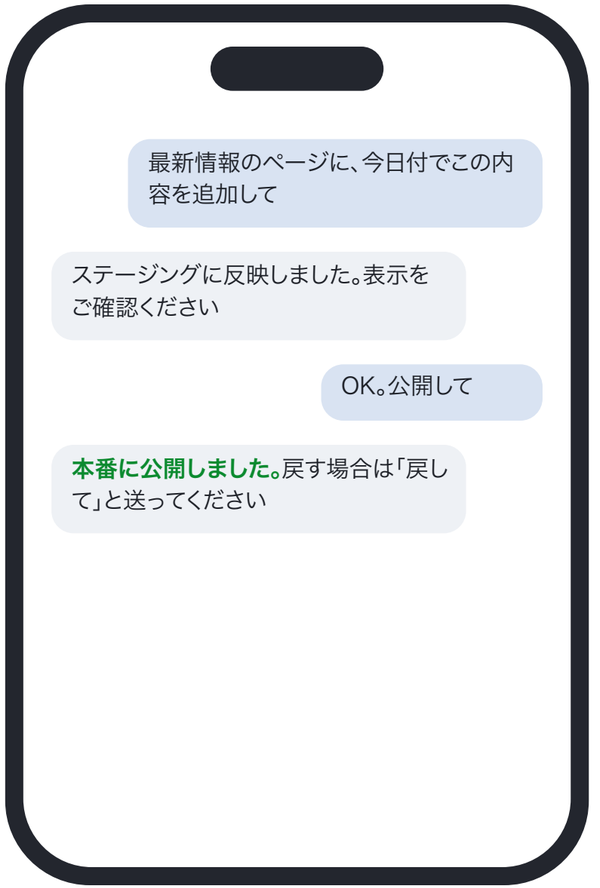
# 企業の運用が、初日から動く。

✓ **テスト環境と本番環境が、最初から分離**
ステージング(テスト環境)での確認とお客様の承認なしに、本番は変わりません。

✓ **「戻して」のひと言で元通り**
変更はすべてGitに記録。気に入らなければいつでも戻せます。

✓ **運用に要るものは、最初から**
日次バックアップ、証明書の自動更新、問い合わせ通知、SEO、費用の見える化。すべて同じチャットで。

✓ **PCがなくても、動く**
コビトはサーバーの中にいます。指示 → テスト → 本番公開まで、担当者のスマートフォン一つで完結します。




© ThinkX Inc.

何に使えるか

# 使いみちは、大きく3つ。

A

## コーポレートサイトの運用

ページ追加、お知らせ更新、LP、FAQ、問い合わせ受付、多言語ページ。「サービスページに事例を1件追加して」のひと言で。

B

## 社内のシステム

←特に相性が良い

これまで**Excelや紙でやっていた管理**を、ブラウザで動く社内システムに。管理表、共有ページ、掲示板、台帳。パスワードを入れれば社内の誰でも使えます。

C

## マーケティングや事務処理

製品紹介や告知のサイト、期間限定のキャンペーンページ、会員向けの限定コンテンツ配信。

**データベースがサーバーの中で走ってさえいれば、あとはプロンプトで作れます。欲しくなったその場で、同じチャットに頼むだけ。**

© ThinkX Inc.

具体例

# いくつものサイトを一元的に管理

## 事例 物件サイトの一括運用

物件ごとにサイトもサーバーもバラバラだと、更新のたびに大仕事。データも指示経路も一本に束ねられているので、**「このマンションは完売に更新して」**で該当サイトだけが即座に変わります。

不動産企業A

「このマンション完売したので表示更新して」

https://companysite.co.jp/event/seminar001




「集客イベントやるから専用ページ作って」

https://myproduct.com




「新商品のページの価格を変更して」

「こっちの中古物件は残り戸数34戸に更新して」

https://comapnysite.co.jp/mansion/01




https://tokyostyle.com/




**指示経路とデータが集約されているから、サイトAでの指示や前提がサイトBにも効きます。**

© ThinkX Inc.

具体例

# ちょっとした業務システムを一瞬で作る

## 事例 出版の校正管理チェック (当社の実例)

「直した・直さない」をExcelで管理するのは面倒——そこで**「ブラウザで動くチェックシートを作って」**。できたシステムをそのままサーバーに上げ、関係者はパスワードを入れて共有。本ベースキットは、サイトの検証環境(テストサーバー)を使って、ちょっとした業務効率化システムも簡単にチーム内で共有できるよう設計されています。




**社内情報管理、進捗管理、在庫管理、
売り上げ管理、TODOリスト、
スケジュール管理、など
お客様のビジネス文脈から一瞬で構築**

**ビジネス文脈を仕様化しなくても、KOBITOの集約的設計により、「あのサイトの情報」「あのフォルダに置いた資料」「いつもの」と言うだけです。**

© ThinkX Inc.

具体例

# 補助金申請など事務処理も集約自動化

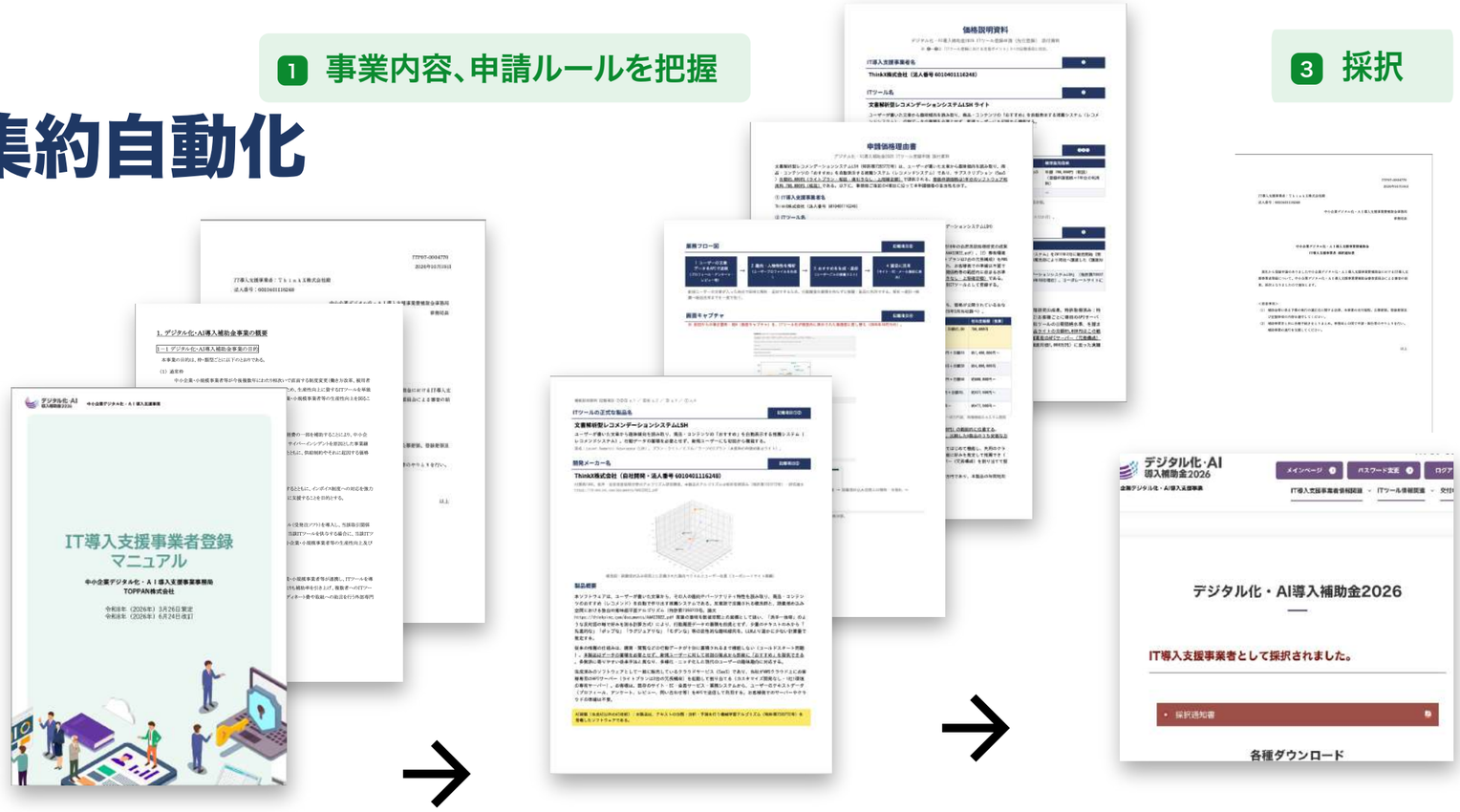
**事例** **IT導入支援事業者申請** (当社の実例)

このベースキットは企業システム用に設計されているため、コーポレートサイトの**商品情報やブランド資料などを一元的に集約管理する構成**をデフォルトで組んでいます。事業のコピー・ライティング・ビジネス情報を再び教えることなく収集し、申請マニュアルを調査し、申請に必要なものを自動で用意。あとは投稿するだけ。

**1** 事業内容、申請ルールを把握

**2** 申請様式を作成

**3** 採択




当社が実際に中小企業庁の「IT導入事業者登録」に本システムで申請し採択されたフロー

**新しいツールの操作を覚える必要はありません。窓口は、いつもの同じチャット一つです。**

© ThinkX Inc.




**サーバー上にあるから**
**スタッフで共同編集可能**

当社では実際に、文字起こしの間違いを共同で修正しています。

**具体例**

# インフルエンサー・広報支援

**事例** **字幕付きリール動画** (当社の実例)

企業サイトや業務システムだけでなく、**「あなたのビジネスを支援するすべての機能」へ統合的に拡張するように設計**されています。そこにはSNSでのマーケティング活動も。

録音・録画した素材をフォルダにアップロードするだけで、SNSに投稿できるコンテンツの編集が可能に。**テストサーバーで公開できるから、スタッフで共有編集が可能。**

**録音・録画素材をアップロード**
↓
**文字起こし・編集タイムラインを自動生成**




**「切り抜きリール動画」を効率良く量産**

字幕を自動でつけるのはもちろん、テキストスタイルやエフェクトも細かく設定できます




**「ビジネスに必要なすべてを統合的に管理」する思想で設計された本ベースキットは、組織のマーケティング・広報にも拡張されます。**

© ThinkX Inc.

ここに出した案は、一例にすぎません。

**無限のアイデアを実現し、それが**

**一貫した企業システムの中で成長していきます。**

© ThinkX Inc.

価格

# 本体は買い切り。お客様のものに。サポートも付属。

アーリーステージ、病院などオーナー組織向け

## Lite

**78**万円

一括(税抜)

- ✓ サイト数 1つ
- ✓ 本番・ステージング分離の専用環境
- ✓ 標準機能すべて
- ✓ 初年度サポート(メール対応等)

中小企業向けにバランスの取れたサポート

## Standard

**156**万円

一括(税抜)

- ✓ 複数サイト可
- ✓ 本番・ステージング分離の専用環境
- ✓ 標準機能すべて
- ✓ 基本サポート＋簡単なコンサルティング

上場企業など、既に大きなシステムを抱える企業への伴奏支援

## Pro

**624**万円〜 *応相談

一括(税抜)

- ✓ 複数サイト可
- ✓ 実装支援によるカスタム機能
- ✓ 標準機能すべて
- ✓ コンサルティング＋実装支援

### 別途かかる費用(お客様所有のクラウド・AI利用料)

| | |
|---|---|
| AWSサーバーインフラー式 | **月 6,000〜9,000円程度** |
| Claude 有料プラン(他の業務と併用可) | **月 $20〜** |
| ドメイン | **年 1,500円程度** |
| **合計(月額の目安)** | **月 9,000〜12,000円程度** |

**よくあるご質問:** 月々の利用料がかかりますか?

いいえ。月々の約1万円はサービス利用料ではなく、お客様ご自身のAWS・Claudeアカウントへの実費です(当社を経由しません)。

環境はすべてお客様所有。一度購入すれば契約が終わってもサイトはそのまま動き続けます。当社ThinkXは中小企業庁「デジタル化・AI導入補助金2026」のIT導入支援事業者に認定されており、最大1/3の負担で購入できる本ITツールの登録も申請中です。

デジタル化・AI
導入補助金2026

© ThinkX Inc.

導入の流れ

# お申込みから2〜3週間。
# お客様がすることは、電話で認証コードを読み上げるだけ。

**STEP 1**
### お問い合わせ・ヒアリング

フォームからご連絡ください。電話またはオンラインでご要望を伺い、お申込みは電子契約で完結します。

**STEP 2**
### アカウント作成

当社がお客様のメールアドレスでAWS・GitHub・Claudeのアカウントを作成。お客様は認証コードを読み上げるだけ。

**STEP 3**
### サーバー構築とコビトの設置

AWS上に本番・ステージング一式を自動構築し、コビトを設置。月々の費用もここで確定します。

**STEP 4**
### 動作確認・引き渡し・運用開始

お客様のスマホで一緒に操作を確認。ログイン情報一式を「引き渡し書」でお渡しして運用開始です。

訪問なし　端末操作なし　2〜3週間　1社1環境

**お問い合わせ**

https://thinkxinc.com/products/KOBITO　／　inquiry@thinkxinc.com

© ThinkX Inc.

よくいただく質問

# 「Claudeのチャットと、何が違うのですか？」

裏で動くAIは、同じClaudeです。違うのは、**AIが仕事をする場所と、最初から持っている文脈**です。

## ふつうのAIチャット

− **毎回、ゼロから教える**
会社の情報・資料・申請要項を、その都度チャットに投げ込むところから始まります。

− **ナレッジの蓄積がかなり限定的**
前回の仕事で重ねた修正のやり取りを、すべて忘れた状態で次の仕事が始まります。

− **一回限り、スケールしない仕組み**
単発で要望とアウトプットを繰り返すだけ。

## KOBITO

✓ **会社の情報が蓄積。システムが組織のように成長（スケール）する。**
事業内容も資料も過去の仕事も基盤の中に。「あそこを見てやって」のひと言で、勝手に読み取って仕事を始めます。

✓ **会社に長年いる従業員のように働く。**
「文言はサイトの表現をなるべく使う」「ブランドをこう維持する」などの前提を踏まえ、議事録も蓄積し読んでから業務にあたります。**熟練従業員のように**文脈を蓄積し即反映。

✓ **作ったものが整理され保管される。サーバーでも動く。**
ファイルを貼り付けるだけで終わりません。サイトや業務システムとして、サーバーの上でそのまま動き続けます。

**使う人は、チャットができれば使えます。おかしくなったら、「直して」と頼むだけです。**

© ThinkX Inc.

よくいただく質問

# 「社内の情報が、外に出たりしませんか？」

企業で使う前提で設計しています。**データの置き場所と、AIの行動の両方**に、標準で次の仕組みが入っています。

### ✓ データを持つサーバーは、外に出さない

インターネットに公開されるのは、データを持たない「中継用サーバー」だけ。企業データは内側のサーバーにあり、外から直接は届きません。

### ✓ 重要な決定は、都度承認。ただし効率化の独自の工夫も。

細かな許可を見張り続ける負担を減らせるよう、明らかに安全な操作は自動で通し、重要な操作だけオーナーの承認を求めるように効率化と安全性のバランスを取っています。

### ✓ 本番は、承認なしに変わらない

テスト環境と本番環境の分離、通信の暗号化、日次バックアップ。ソフトウェア企業が行ってきた標準的な対策は最初から組み込み済みです。

### ✓ それ以上の要件は、個別に対応

監査や業界規格レベルの要件は、パッケージとは別にコンサルティングで対応します。




外から届くのは、手前のサーバーまで。たとえ侵入されても、そこに企業データはありません。

© ThinkX Inc.

インターネットを使っていない会社が、いまは存在しないように。

# 今後数年内に、「エージェント駆動型の組織システム」に移行していない会社は過去のものになります。

---

**ThinkXの「ベースキット」は、それを今から始めるための最初の「基盤」を、完成品で提供します。**

感度の高い企業はエージェントベースの企業システムを積み上げ始めています。
それは、従業員がAIを使うのとは全く別のパラダイムです。
早く始めた会社ほど有利になります。——その準備を、今から始めましょう。

ThinkX
Since 2015

© ThinkX Inc.